

2010

1 武士道

日本思想の解明

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著 矢内原忠雄訳 李登輝解題

二三産業 TEL 06(6944)1231 FAX 06(6944)1232

私は今、武士道の信楽観を語りつゝあるものなるを承知している。しかしながら我が国民の高尚道徳にのみは教養と貴すことは不当ではあるまい。これにのみは、外国の書籍・新聞において、多くの不平を伺ひている。締りのない高尚道徳は、じつはわが国民の名譽上、最悪の欠点であった。しかしながらこれを愚口にもしくはこれがために、全国民を非難する前にそれを冷静に研究すべきではないか。しからは吾人は将来に対する慰藉をわが報いさへするであらう。

人生におけるすべての大きな職業中、商業ほど武士と遠く離れたいはなかつた。商人は階級の階級中、士農工商と称し、最下位におかれた。武士は、土地より所得を得、かつ自分でやる気さえあれば、素人農家に従事するのをさへできた。しかしながら、振場の算盤は嫌悪せられた。吾人は、この社会的取り扱ひの智慧を知っている。

モリキエー(1689-1955 フランスの哲学・政治学者)は、貴族と商業より遠くを去ることを権力者の手への富の集積を予防するものとして賞賛すべき社会的政策たることを明らかにした。権力と富との分離は、富の分配を均等に近からしめる。デュルケイム教授(1844-1924 フランスの古典学者、歴史家、教育者)はその著「西洋国最後の世紀におけるローマの社会」においてローマ帝国の衰亡の原因は、貴族の商業に従事することを許し、その結果少数元老の家族に富と権力の独占が生じたことにあると論じ、吾人の記憶を新たにすると云ふことがあった。

この故に封建時代における日本の商業は、自由の状態で下位、その到達にばかりし程度に於て発達するに留まつたのである。この職業に対する侮蔑は、おのずから社会的評判に頓着するような人々をその範囲に集めた。「人土泥構と云ふは、彼は盗利にあらず」と。その職業に呼名を付すれば、それに従事者は、その道徳をこれに準せしめらる。ヒューブワックの云ふごとく「正常の良心は、これに對してなされる要求の高さに基づき、それこれに對して期待せられる標準の限界にまでたやすく下るにせしめられて自然である。商業とあつた他の業とあつた、しかし職業者も道徳の掟をたて行なふべきことは、付言するを要しない。封建時代における我国の商人も彼らの間に道徳の掟を有したのである。> — 中略 —

ウィッキー(1838-1903 アイヴァーズの歴史学者)の教養に信楽の三要素(経済的・政治的・哲学的)の中、第一の経済的とは、武士道に欠けていた。第二の政治的、封建制下での政治社会においては、より発達するに留まつた。正直は我が国民道徳の目録中最高地位を獲得したのは、その哲学的、しかしウィッキーの云ふがごとく、その最高の表現においてであった。アングロサクソン民族の高尚商業道徳に対する私的敬意の誠意を尊敬をもち、その窮極の根拠を質問する時、私に与えられた答えは、「正直は最善の政策なり」— 正直は引を合ふ、と云ふのである。しからは、徳をわが国民のこの徳の報酬ではないか。もし正直の虚偽よりも多くの現金を得るが故に、それを守るとすれば、私は恐る。武士道は我が虚言に恥つたであらうぞと!

「武士は倉かねも高楊枝」といふ言葉がある。日本の武士は、たゞ自給自給に類した名譽を誇り、捨つても金に執着するものではないと云ふ。この「虚を我慢」の精神こそが、我々の間、日本の支配階級の腐敗や墮落を防ぐ大きな橋頭堡となつたのである。「人間は12の計りもつた生るものにあらず」と云ふ。幕府の革命家、急進信教の治世を思ふ、一方に極端な改革断行、他方において「衆市衆生」といふ大胆な規制緩和を行つた。(李登輝、武士道解題)

新しい年を迎えました。温古知新 正月のお屠蘇に向つて 過ぎたあの日を思い ありしころと 想ひを更地もあらず。



小回例の「今年漢字」は「新」でした。日本漢字能力検定協会 の応募は過去最高 161,365通の8.7%が「新」 前年(2008)は「変」でした。

新

「新」の理由だが、朝日新聞12月12日号「新風が吹き荒立つ一年」とあり、木下新大統領、鳩山新政権、100年一度の大不況に対する「新風」これら国民一般の願望を指す。昨年の正月、世界的大震災に際し、「背水の陣」を内外に宣はれ、義理人情は、相月に預け、節費に努め、取り巻く商売に専心。

今年2010年は、「従流志不変」足場を固めて、政勢に出る。

オリジナルを軸に、ニッチで貢献します。ニッチはNICHE、すきまのことです。

別紙は笑覧、今年も引く、お預けの次第です。武蔵敬白